

2016 年 8 月 31 日

パナソニック株式会社
 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社
 メカトロニクス事業部 モータビジネスユニット

**ACサーボアンプ MINAS A6シリーズ機能追加
 ソフトウェアVer1. 05 および Ver1. 06についてのお知らせ**

拝啓 残暑の候、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 さて標記の件、下記の通り、MINAS A6シリーズのソフトウェアを変更いたします。
 何とぞご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

－記－

- 対象機種：MINAS A6シリーズのアンプ全機種
 (品番)：M*DL***S*
 Mから始まる、左から3桁目・4桁目がDL、8桁目がS

- 内容と実施時期：
 ソフトウェアバージョンをVer1. 03からVer1. 05に7月生産分より変更しております。
 また、Ver1. 05からVer1. 06に9月生産分より順次変更いたします。
 機種品番の変更はございません。

- 変更理由：機能向上のため。

■変更内容

	機能	Ver1. 03	Ver1. 05	Ver1. 06
1	I/Oブロック動作機能	未対応	対応	対応
2	劣化診断警告機能	未対応	対応	対応
3	位置コンペア機能	未対応	対応	対応
4	無限回転アブソ機能	未対応	対応	対応
5	セミクローズ制御時外部スケール位置情報モニタ機能	未対応	対応	対応
6	負荷変動抑制機能のフルクローズ制御対応	未対応	対応	対応
7	象限突起抑制機能拡張	未対応	対応	対応
8	パルス再生機能のシリアルアブソリュート外部スケール Z 相シフト機能	未対応	対応	対応
9	Slow Stop機能	未対応	対応	対応
10	Modbus機能拡張	未対応	対応	対応
11	Pr5. 09「主電源オフ検出時間」設定範囲の拡張 [ms]	70～2000	70～2000	20～2000
12	Pr6. 35「ハイブリッド振動抑制フィルタ」パラメータ設定範囲の拡張 [0.01ms]	0～6400	0～6400	0～32000
13	モータ可動範囲設定保護機能拡張	未対応	未対応	対応

パナソニック株式会社 オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社

【変更内容詳細】

1) I/Oブロック動作機能

Modbus通信に加えて、I/Fコネクタの入力信号からのブロック動作に対応しました。

2) 劣化診断警告機能

モータや接続された機器の特性変化を推定し、劣化診断警告を上位側に通知することができます。

3) 位置コンペア機能

モータ位置がパラメータで設定された位置を通過した時に、汎用出力または位置コンペア出力端子からパルス信号を出力させることができます。

4) 無限回転アブソ機能

アブソリュートエンコーダの多回転データの上限值を任意に設定できるようにする機能です。本機能を使うとターンテーブル等の用途において、一方向に連続回転させた場合においてもターンテーブルの回転角度(位置)を求めることが可能になります。

5) セミクローズ制御時外部スケール位置情報モニタ機能

セミクローズ制御時に外部スケール位置のモニタ、および外部スケールのパルス再生ができます。

6) 負荷変動抑制機能のフルクローズ制御対応

負荷変動抑制機能がフルクローズ制御に対応しました。

7) 象限突起抑制機能の機能拡張

象限突起抑制機能の補償値を反転方向別に個別に設定することが可能になりました。

8) パルス再生機能のシリアルアブソリュート外部スケール Z 相シフト機能

シリアルアブソリュート外部スケール使用時のZ相再生を行う絶対位置に任意の位置を指定することができます。

9) Slow Stop機能

即時停止時に、サーボオンしたまま制御を効かせてモータを滑らかに停止させることができます。

10) Modbus機能の拡張

ミラーレジスタ領域に任意のレジスタを配置できるミラーレジスタ機能やブロードキャストコマンドでもアンプ側からレスポンスを返す機能など、様々な機能が追加されます。

11) Pr5. 09「主電源オフ検出時間」パラメータ設定範囲の拡張

設定可能最小値 70 → 20 [ms]

12) Pr6. 35「ハイブリッド振動抑制フィルタ」パラメータ設定範囲の拡張

設定可能最大値 6400 → 32000 [0.01ms]

13) モータ可動範囲設定保護の機能拡張

モータ可動範囲設定保護の検出条件を拡張できるようになります。

・本バージョンに対応したセットアップ支援ソフトウェア(PANAERM)はVer6. 0. 0. 9以降となります。

・従来のパラメータファイルをアンプに設定した場合、従来どおりの機能をご利用いただけます。

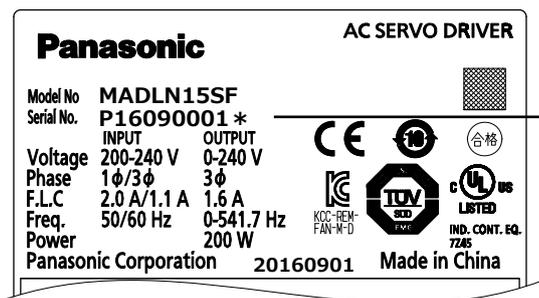
■ 確認方法：

・ ソフトバージョン確認による方法

ソフトウェアバージョンはセットアップ支援ソフト（PANATERM）、または、前面パネルから確認することができます。

・ 製造番号(シリアルナンバー)より製造年、製造月を確認する方法

製品側面の銘板に記載の製造番号(シリアルナンバー)は下記の仕様になっています。

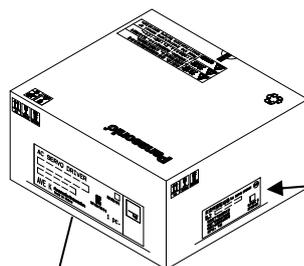


製造番号 (シリアルナンバー)

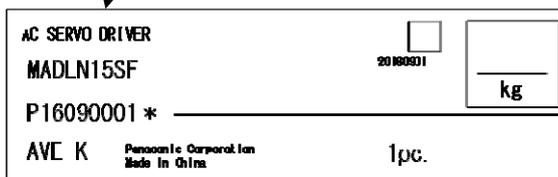
例 P16090001*
 T T E 連番
 T 製造月
 製造年 (西暦下 2 桁)

これらの製造年、製造月を確認してください。

梱包箱正面のラベルに記載の製造番号(シリアルナンバー)は下記の様になっています



こちらのラベルには記載していません。



製造番号 (シリアルナンバー)

例 P16090001*
 T T E 連番
 T 製造月
 製造年 (西暦下 2 桁)

これらの製造年、製造月を確認してください。

■ 参考資料

・ 参考仕様書(多機能タイプ)

http://industrial.panasonic.com/content/data/MT/PDF/refer/jp/acs/SX-DSV02942_R1_0J.pdf

・ 技術資料(基本機能仕様編)

http://industrial.panasonic.com/content/data/MT/PDF/refer/jp/acs/SX-DSV02910_0J.pdf

・ 技術資料(Modbus通信仕様・ブロック動作機能編)

http://industrial.panasonic.com/content/data/MT/PDF/refer/jp/acs/SX-DSV03033_0J.pdf

以上